

「公共工事コスト縮減対策に関する新行動指針」

【 施策名：技術開発の推進 】

「公共工事コスト縮減対策に関する新行動指針」の30施策および
「国土交通省公共事業コスト構造改革プログラム」の34施策に対応

広幅鋼矢板の活用

工事名：巨勢川調整池越流堰本体工工事

概要：従来の鋼矢板を幅広のハット型鋼矢板に変更することでコストの縮減を図る。

効果

幅広のハット型鋼矢板を使用することにより、施工枚数を少なくすることができコストの縮減が図れる。

縮減額

w型：64,280枚/円 × 139枚 = 8,935千円

ハット型：91,350枚/円 × 93枚 = 8,496千円

439千円のコスト縮減！ (4.90%)

◇ U形鋼矢板との比較

